

VINTAGER

AC112



www.behringer.com



概要

バージョン 1.2 2004 年 7 月

日本語

安全にお使いいただくために



注意： 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れず、故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。

警告： 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が通じています。手を触れると感電の恐れがあります。



取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

テクニカルデータや製品の外観は予告なしに変更される場合があります。各社名や出版物、ロゴ等はすべて各所有者の登録商標です。これらの使用は、BEHRINGER®による登録商標の主張もBEHRINGER®と登録商標所有者との提携を意味するものでもありません。BEHRINGER®社は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。製品のディストリビューター（配給元）およびディーラー（販売業者）は、BEHRINGERの特約代理店ではなく、これらは明示・暗示を問わずあらゆる行動および表現によってBEHRINGERを拘束する権限を一切有しません。本取扱説明書に記載された情報内容は、BEHRINGER Spezielle Studioteknik GmbHからの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。BEHRINGER®は登録商標です。

ALL RIGHTS RESERVED.

© 2004 BEHRINGER Spezielle Studioteknik GmbH.
BEHRINGER Spezielle Studioteknik GmbH
Hanns-Martin-Schleyer-Str. 36-38
47877 Willich-Muenchheide II, Germany
Tel. +49 2154 9206 0, Fax +49 2154 9206 4903

安全にお使いいただくためのより詳細な注意事項

取扱説明書を通してご覧ください。

取扱説明書を大切に保管してください。

警告に従ってください。

指示に従ってください。

本機を水の近くで使用しないでください。

お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。

本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分ご注意ください。

付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している際の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。



雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードまたはプラグが損傷した場合、本機内部に異物や水が入った場合、雨や水分で濡れた場合、本機が正しく作動しない場合、もしくは本機を落下させてしまった場合は、当社指定のサービス技術者に修理をご依頼ください。

注意 - これらの指示は、資格のあるサービス技術者に向けたものです。感電の危険を防ぐため、有資格者以外は、装置の操作方法に記載された内容以外の整備は、行わないようにしてください。

1. 概要

VINTAGER AC112 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

VINTAGER はギターアンプテクノロジーにあらたな基準を作り出す新型式のギターワークステーションです。

開発にあたっての最大の目標はクラシックなギターアンプの本物の音声を完全なものにし、さらに最新の DSP テクノロジーと結合させることでした。さらに開発の際には直感的な操作を可能とすることが前面に押し出されていました。

☞ 以下の説明では装置のもつ全ての機能について知っていただくため、最初に専門用語の説明を行います。取り扱い説明書は一度お読みになった後も、必要な場合に引き出して読むためにしっかりと保管してください。

ご注意ください！

☞ 大きすぎる音量は聴覚などに障害を引き起こしたり、ヘッドフォンの故障を発生させるおそれがあります。このため、装置の電源をいれる前には必ず **LEVEL** コントローラーを左端まで回してください。また使用中にも適正な音量を保つことにご注意下さい。

1.1 ご使用の前に

安全な運搬のため、VINTAGER は出荷時に細心の注意をもって包装されていますが、万一、包装に異常がある場合にはまず装置外部に損傷がないかどうかを確認してください。

過熱を防ぐため十分な換気の確保に留意し、装置の暖房の近くへの設置は避けてください。

☞ 装置が万一故障した場合には、保証請求権が無効となるおそれがありますので当社へ直接返送せず、必ず販売店および運送会社へご連絡下さい。

☞ 装置の保管あるいは出荷時は、装置の破損を防ぐために、必ずオリジナルの梱包を使用してください。

☞ 装置や梱包箱を子供の手の届かない場所に置いて下さい。

☞ 環境を損なわないように梱包材を廃棄してください。

電源への接続には標準型 IEC コネクタ付きケーブルを使用します。このケーブルは必要な安全基準を満たしています。

MIDI コネクタ (IN) は DIN 規格に準拠したパッチコードを採用。データの送受信はオプティカルによって行われます。詳細は第 3 章「設置方法」を参照してください。

1.2 各操作部の説明

1.2.1 フロント側

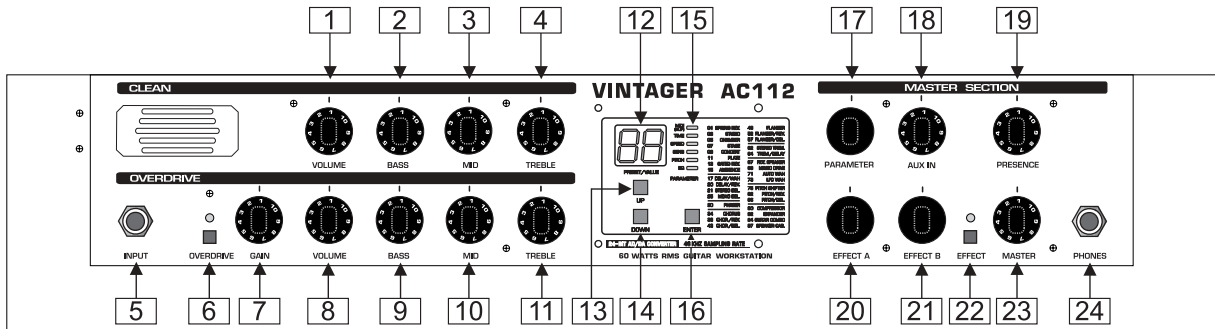




図1.1: フロント側の各操作部

- 1 **VOLUME** コントローラーは CLEAN チャンネルの音量を設定するために使用します。
- 2 EQ セクションの **BASS** コントローラーは CLEAN チャンネルの低域周波数のブースト/カット用です。
- 3 **MID** コントローラーは CLEAN チャンネルの中域周波数のブースト/カット用。
- 4 **TREBLE** コントローラーは CLEAN チャンネルの高音域のコントロールに使用されます。
-  **CLEAN** チャンネル内EQ セクションの全てのコントローラーを左端まで回すとスピーカーへの出力はストップします。これは VINTAGER に搭載されたクラシックかつ高性能な EQ 回路によるものです。
- 5 **INPUT** と記されたジャックは VINTAGER にギターを接続するための入力端子 (6.3 mm フォンジャック) です。接続には市販の 6.3 mm モノラルフォンジャック付ケーブルを使用します (ケーブルは楽器専門店でお買い求め下さい)。コンサートや練習の際の不快な雑音の発生を防ぐために高品質ケーブルを使用してください。
- 6 **OVERDRIVE** キーは CLEAN チャンネルと OVERDRIVE チャンネルの切替え用です。OVERDRIVE チャンネルがオンになっている場合には付属の LED が点灯します。
- 7 **GAIN** コントローラーは OVERDRIVE チャンネルの歪み率を決定します。
- 8 **VOLUME** コントローラーは OVERDRIVE チャンネルの音量を設定するために使用します。
-  2 つの **VOLUME** コントローラーは両チャンネル間の音量の比率を最適化し、チャンネル切替えの際に音量の差が発生するのを防ぐために使用します。
- 9 EQ セクションの **BASS** コントローラーは OVERDRIVE チャンネルの低域周波数のブースト/カット用です。
- 10 **MID** コントローラーは OVERDRIVE チャンネルの中域周波数のブースト/カット用。
- 11 **TREBLE** コントローラーは OVERDRIVE チャンネルの高音域のコントロールに使用されます。
- 12 **DISPLAY** はセレクトされたプリセットのプログラムナンバーもしくは **PARAMETER** コントローラー、**EFFECT A** コントローラーまたは **EFFECT B** コントローラーによって選択されたパラメーターの数値を表示します。
- 13 **UP** キーを押すと、内蔵されているエフェクトモジュールのプログラムナンバーはより大きい番号のものに切り替わります。ナンバーを連続して変える場合にはこのキーを押さえたままにします。
- 14 **DOWN** キーはより小さい番号のプログラムを選択するのに使います。

- 15] **STATUS LED** は PARAMETER コントローラーで変更sることができるパラメーターの種類を表示します。(MIDI LED は例外)
- ▲ MIDI : UP キーと DOWN キーを同時に 2 秒間以上押すとこの LED が点灯し、これに続いて UP/DOWN キーで MIDI データの受信用の MIDI チャンネルを選択することができます (1 から 16 チャンネル、「On」: OMNI、「OF」: オフ)。チャンネルの選択の後、確認のために ENTER キーを押します。MIDI データの受信時には MIDI LED が点灯します。
 - 🔊 **Store Enable** モード (2.1 参照) は MIDI によるプリセットの直接保存を可能とします。MIDI コントロールコマンド 18 を送信すると使用中のプリセットが変更され、元には戻せないことに注意してください。
 - 🔊 **DSP** モジュールのオーバードライブの恐れがあり、パラメーターの変更も行われなない時には、多機能の **MIDI LED** が点滅します。この場合には **VOLUME** コントローラーを少し絞って下さい。
 - ▲ TIME : エフェクトのタイムパラメーターを選択した場合にこの LED が点灯します (例 : リバーブタイムやディレイタイム)。
 - ▲ SPEED : 全てのモジュレーションエフェクトに関する LFO (Low Frequency Oscillator) のスピード設定、コンプレッサーやエキスパンダーの SPEED パラメーターの設定時にこの LED が点灯します。
 - ▲ SENS : この LED は Auto Wah、エキスパンダーまたはコンプレッサーなどのエフェクトの感度調整を行うことができるのを示します。
 - ▲ PITCH : ピッチシフターの設定時に点灯し、半音またはそれ以下のピッチのずれを知らせます。
 - ▲ EQ : フィルターを基礎とするエフェクトパラメーターの変更時に点灯します。

ステータス LED の右側には各種のエフェクトとそのプログラムナンバーを記した表があります。このリストは必要なエフェクトを素早く探し出し編集・保存するのに利用できます。内蔵されたエフェクトは 31 のエフェクトグループに分けられ、合計 99 のエフェクトバリエーションを使用することができます。

- 16] **ENTER** キーはプログラムナンバーのセレクトを確認するために使用します。
- 🔊 **MIDI** 機能が使用されていない場合には **VINTAGER** の各チャンネルにはそれぞれ一つずつエフェクトを保持することができます。これによって例えば **OVERDRIVE** チャンネルに **DELAY** エフェクトを、**CLEAN** チャンネルに **REVERB/CHORUS** コンビネーションエフェクトを対応させることができます。それぞれのプログラムナンバーはチャンネルに記憶されたフットスイッチまたは **VINTAGER** のキーによって呼び出すことができます。MIDI 機能がオンになっている場合にはこの機能は利用できません。MIDI モードではチャンネルとエフェクトは独立して切り替えられます。
- 17] **PARAMETER** エンドレスコントローラーはエフェクトに関係するパラメーターの変更に利用されます。パラメーターの数値は PARAMETER コントローラーによるセレクトに続いてすぐにディスプレイに表示され、付属の LED が点灯を開始します。(15] を参照)。
- 18] マスターセクションの **AUX IN** コントローラーは VINTAGER 後部の AUX IN 端子から入力される AUX 信号(ドラムコンピューター、プレイバックなど)の音量調整を行います。
- 19] マスターセクションの **PRESENCE** コントローラーは VINTAGER の両チャンネルの中部高音域信号のブースト/カットのために使用します。
- 20] **EFFECT A** エンドレスコントローラーはオリジナル信号とエフェクト信号のミックスの割合を決めます。プリセットの種類によりこのコントローラーはオリジナル信号と左側のエフェクト信号の割合、またはオリジナルと第一のエフェクト(コンビネーションエフェクトの場合)のミキシングを決定します。さらにいくつかのエフェクトではこのコントローラーを使用して第二のエフェクトパラメーターを変更することができます。

- 21 **EFFECT B** エンドレスコントローラーも同様にオリジナル信号とエフェクト信号のミックスの割合を決めます。プリセットの種類によってこのコントローラーはオリジナル信号と右側のエフェクト信号の割合、またはオリジナルと第二のエフェクト(コンビネーションエフェクトの場合)のミキシングを決定します。さらにいくつかのエフェクトではこのコントローラーを使用して第三のエフェクトパラメーターを変更することができます。
- 22 プリセットを変更すると 2 桁表示のディスプレイの小数点が点滅を開始します。**ENTER** キーを長く押すと初期設定にユーザーによる設定を上書き保存することが可能です。初期設定を呼び戻すには装置に電源を投入する際に **ENTER** キーを押し続けてください。
- 23 **EFFECT** キーは選択されたエフェクトのオン/オフに使用します。
- 24 マスターセクションの **MASTER** コントローラーは VINTAGER の信号全体の音量を調整するために使用します。
- 25 この 6.3 mm ステレオフォンジャックを利用して VINTAGER のオーディオ信号を市販のヘッドフォンでモニターすることができます。この端子が使用されている場合、スピーカーはミュートに切り替わります。
- 26 スピーカーはギターアンプの音質に重大な影響を及ぼすため信号はヘッドフォン出力だけではなく **LINE OUT** 回路でも周波数領域の補正が行われます(スピーカーエミュレーション)。この補正が行われない場合には高倍音の影響によってサウンドの質が低下します。ただし、アンプ内の信号の流れを中断せずに **INSERT SEND** 端子のプリアンプから無処理の信号を直接取り出すことも可能です(**RETURN** ジャックはこの場合には使用しないで下さい)。低オームヘッドフォンでは過大な音量による歪みが発生します。このような場合には **VOLUME** コントローラーで音量を下げてください。

1.2.2 後部

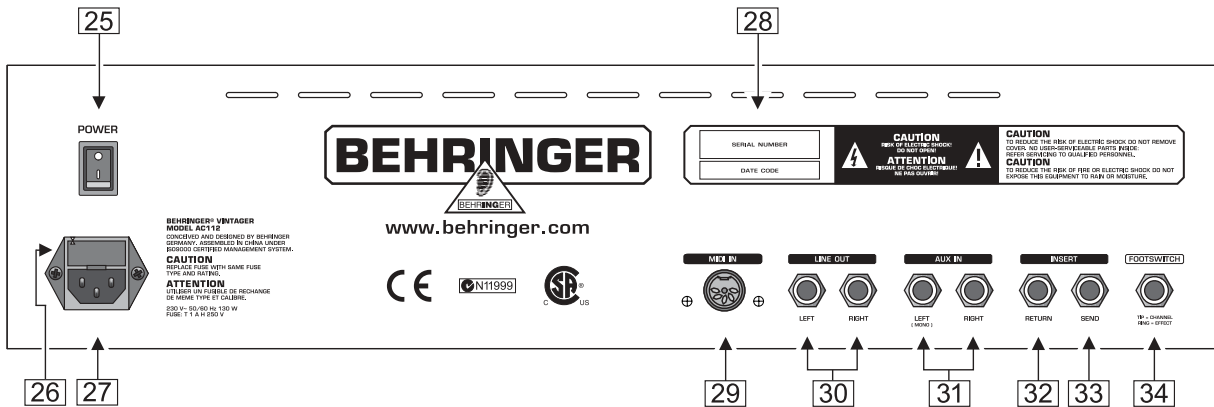


図 1.2: VINTAGER 後部のコネクター

- 25 **POWER** スイッチは VINTAGER に電源を投入します。
- 26 ヒューズホルダー/電圧セレクト: 本装置を電源に接続する前に、電圧の表示が供給電圧に一致しているかどうかを確認してください。ヒューズ交換の際には必ず同じタイプのものを使用してください。ほとんどのモデルではヒューズホルダーは 230 V と 115 V の切り替えのために 2 つの異なるポジションで差し込めるようになっています。本装置をヨーロッパ以外の地域において 115 V で使用する場合、大き目の安全値をとる必要があることにも注意してください。(第 3 章「設置方法」の項目も併せてご覧ください。)
- 27 電源への接続には標準 IEC コネクターを使用します。この装置には適合するコネクターが付属しています。
- 28 シリアルナンバー

- 29 **MIDI IN** : このコネクタは VINTAGER の MIDI リモートコントロールに使用されます。この遠隔操作はコントローラーによるパラメータ設定の変更、エフェクトプログラムおよびチャンネルの切替えとプログラムチェンジを用いたエフェクトバイパスを可能とします。
- 30 **LINE OUT** : この出力端子は録音などの目的で VINTAGER の音声信号をステレオで取り出すために使用され、周波数領域の補正を行いません (スピーカーエミュレーション)。
- 31 **AUX IN** : この入力端子は追加ステレオ信号 (例: ドラムコンピューター、プレイバック) を VINTAGER に入力するために使用されます。さらにこの AUX IN 端子を INSERT SEND と組み合わせて並列のエフェクトインサートとして使用することも可能です。この場合には INSERT SEND をエフェクターの入力側と、AUX IN を出力側と接続します (INSERT RETURN ジャックは使用しないでください)。この接続を行うことで、アンプ内の信号の流れを中断せずに AUX IN コントローラー (18 で解説) による外部装置のエフェクト信号のオリジナル信号に対する割合を適当に調節することができます。エフェクターはエフェクト信号 100% (= 100% ウェット) にセットされている必要があります。
- 32 VINTAGER は外部のエフェクト (Wah ペダルなど) を接続することができるシリアルインサートバスを装備しています。ここにはエフェクターの出力と接続するための **INSERT RETURN** ジャックが設けられています。
- 33 **INSERT SEND** ジャック : 外部エフェクターの入力側との接続に使用。
- ☞ シリアルインサートバスを使用する場合にはエフェクターをエフェクト信号 **100%** には設定しないでください (ダイレクト信号の確保のため)。
- 34 **FOOTSWITCH** コネクタ : このコネクタにはフットスイッチ FS112 のステレオフォンプラグを接続します。接続されたフットスイッチはチャンネルの切替えやエフェクトのシャットアウトに利用することができます。

2. MIDI コントロール

内蔵された MIDI インターフェースを活用して VINTAGER を MIDI システムに組み込むことができます。AC112 はプログラムチェンジだけではなく MIDI コントローラー信号の受信を行い、例えばプログラムチェンジを MIDI フットコントローラーやコンピューター上のシーケンサープログラムによって実行することもできます。BEHRINGER 社の MIDI フットコントローラー FCB1010 はこのような目的に適確に対応します。VINTAGER 接続の一例 :

VINTAGER の MIDI IN ジャックと MIDI フットコントローラーの MIDI OUT ジャックを接続します。これに続いて、マルチエフェクトプロセッサの UP キーと DOWN キーを同時に約 2 秒間押して VINTAGER の MIDI 機能をオンに切替えます。MIDI チャンネルの一つ (1 から 16 まで、ON : OMNI モード、OF : オフ) を選択し、最後に確認のため ENTER キーを押します。OMNI モードでは VINTAGER は全てのチャンネルで MIDI データの受信を行うことができます。もちろんこの場合にはフットコントローラー側でも同じチャンネルが選択されていなくてはなりません。(フットコントローラーの取り扱い説明書をご覧ください。)

☞ MIDI 機能をオンにするとエフェクトナンバーとチャンネルの対応機能はオフになります。これは、チャンネルを切り替えたときにもそれ以前にそのチャンネルに設定されていたエフェクトが自動的に呼び出されないことを意味します。VINTAGER のフットスイッチによるリモートコントロールの際にはこの自動呼出しは混乱を招く恐れがあるため VINTAGER からの直接コントロールまたは付属のフットスイッチの使用時にのみ利用価値があります。VINTAGER を MIDI リモートコントロールなしで操作する場合には MIDI 機能をオフに切り替えてください。

プリセットの呼び出しは MIDI によるプログラムチェンジで行うことができます。プログラムチェンジは 0 から始まり 27 で終了するためプログラムチェンジ 0 にはプリセット 1 が、プログラムチェンジ 1 にはプリセット 2 がというように対応しています (付属の表 4.2 を参照)。切替えを行うとその前にバイパス設定が行われていたかどうかに関わらずプリセットは直ちに作動状態になります。

3つの変更可能なパラメーター、PARAMETER、EFFECT A と EFFECT B は MIDI フットコントローラーによってリアルタイムで遠隔操作することが可能です。この場合には、まず MIDI フットコントローラーでフットペダルのコントローラーナンバーを選択します。これにはコントローラーナンバー 12 (PARAMETER)、13 (EFFECT A) と 14 (EFFECT B) を使います。この設定により MIDI フットコントローラーのフットペダルで 3 つの変更可能なパラメーターをリアルタイムで変更することができます。

チャンネルの変更はコントローラー 10 により行うことができます。このコントローラーによって数値 1 を送ると CLEAN チャンネルがオンに、数値 1 は OVERDRIVE チャンネルへの切替えです。さらにチャンネルの切替えはプログラムチェンジを利用して行うことも可能です。プログラムチェンジ 123 は CLEAN チャンネル、124 は OVERDRIVE チャンネルの起動用です。チャンネルの切替えに加えてエフェクトのオフへの切替えを MIDI で行うにはコントローラー 11 を通じて 0 を送ります。数値 1 はエフェクトを再びオンに切替えます。プログラムチェンジ 127 はエフェクトバイパスを行うのに使用します。

エフェクトモジュールの入力信号レベルは MIDI コントロールコマンド 7 によって決定されます。このコマンドによって VINTAGER の音量を必要に応じて変化させることができます。このコントローラーコマンドはマスターボリュームの調整には関係しないため、設定変更の際にはマスターコントローラーで必要な音量を設定してから MIDI コントロールコマンド 7 で音量を絞ります。この機能は「ボリュームコントローラー」と呼ばれます。

ワウエフェクトの使用範囲は MIDI コントロールコマンド 15 で決定します。

このほかにも LFO コントロールによるモジュレーションの際に LFO をオフに切替え、MIDI コントロールコマンド 15 によってモジュレーションを制御することができます。この MIDI コントローラーをオンに切り替えるには LFO のスピードを VINTAGER によって直接、もしくは MIDI コマンドによって 0 に設定してください。

全ての MIDI 遠隔操作をコンピューター上のシーケンサープログラムで実行することももちろん可能です。この機能はとくにホームレコーディングに威力を発揮します。近いうちに現在の MIDI シーケンサープログラム用周辺環境が BEHRINGER 社のウェブサイト上に登場します。(www.behringer.com)

2.2 Store Enable モード

Store Enable モードを使用するとパラメーターの変更を MIDI シーケンサープログラムなどから直接取り込み、保存することができます。このモードを作動させるにはマルチエフェクトプロセッサの UP キーと DOWN キーを同時に約 2 秒間押し、続いてこの 2 つのキーを使って MIDI 入力チャンネル (1 から 16 または オン: OMNI、注: 小数点が表示されます。) を選択してください。MIDI シーケンサープログラムから MIDI コントロールコマンド 18 を利用して設定された MIDI 入力チャンネルに任意の数値を送信すると、使用中のプリセットにパラメーターの変更が書き込まれます。MIDI コントロールコマンド 18 は Store Enable モードがオンになっているとき、エフェクトモジュールの ENTER キーを長く押した場合と同じ機能を果たします。

3. 設置方法

3.1 電源アダプター

VINTAGER をコンセントに接続する前に、装置が供給電源に合わせて設定されていることを必ず確認してください。メインコネクターのヒューズホルダーには 3 つの三角形マークが記されています。このうち、2 つの三角形は向かい合った位置に記されており、VINTAGER はこのマークの横に記された電圧にセットされています。ヒューズホルダーを 180° 回転させると、この設定を変更することができます。注意: この項目は特定の供給電圧用に設定されている輸出用モデルには当てはまりません。

電源への接続には標準型 IEC コネクタ付きケーブルを使用します。このケーブルは必要な安全基準を満たしています。

3.2 オーディオ接続端子

BEHRINGER VINTAGER のオーディオ入出力はヘッドフォンジャックを除きすべてモノラルフォンジャックです。

- 🔊 本装置の設置は必ず専門家が行って下さい。設置および操作の際には本装置を完全な状態で作動させるため、作業者の接地を十分に確保してください。

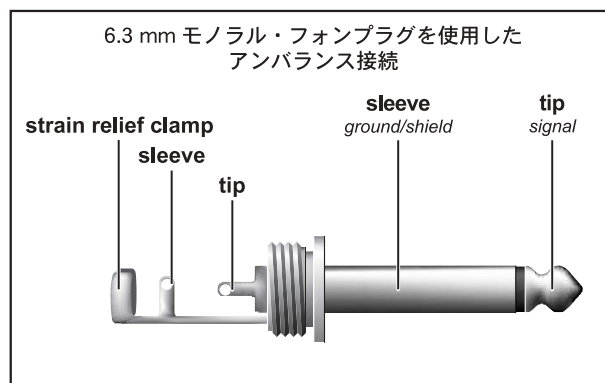


図3.1: モノラルフォンジャックの接続

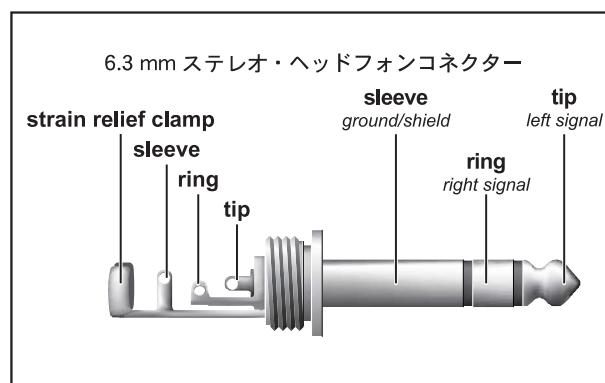


図3.2: ステレオヘッドフォンジャックの接続

3.3 MIDI 接続端子

装置後部の MIDI コネクターは国際基準に適合した 5 極型の DIN コネクターが装備されています。VINTAGER を他の MIDI 機器と接続するには市販の MIDI ケーブルが必要となりますが、このケーブルをマイクケーブルのような 2 芯型ケーブル（絶縁型）と 180 度タイプの DIN コネクターで自作することもできます。この場合、Pin 2 (Center) = Shield、Pin 4 と Pin 5 (Pin 2 の両側) = Core となり、Pin 1 と 3 (外側のピン) は使用されません。ケーブルの長さは 15 メートル以内のものを使用してください。

- 🔊 ピン 4 とピン 4、それにピン 5 とピン 5 のそれぞれの接続を確認してください。

- 🔊 **MIDI IN:** MIDI コントロールデータの受信用。入力チャンネルは **UP** キーと **DOWN** キーのコンビネーションで設定します。**On = Omni** は全てのチャンネルに MIDI データが入力~~※~~処理されることをしめします。(第 2 章参照)

4. 付表

4.1 プリセットの一覧

表 4.1 はエフェクトナンバー、名称、パラメーターの種類、パラメーターの調整範囲とワークプリセットの一覧です。

VINTAGER AC112

プリセット番号	エフェクト	バリエーション	パラメーター			EFFECT A			EFFECT B		
			Range	Default		Range	Default		Range	Default	
1	SPRING REVERB	short Pre-Delay	Reverb Time	1..32	8	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
2		long Pre-Delay	Reverb Time	1..32	14	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
3	STUDIO	short Pre-Delay	Reverb Time	1..32	5	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
4		long Pre-Delay	Reverb Time	1..32	14	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
5	CHAMBER	short Pre-Delay	Reverb Time	1..32	8	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
6		long Pre-Delay	Reverb Time	1..32	15	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
7	STAGE	short Pre-Delay	Reverb Time	1..32	4	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
8		long Pre-Delay	Reverb Time	1..32	12	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
9	CONCERT	short Pre-Delay	Reverb Time	1..32	9	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
10		long Pre-Delay	Reverb Time	1..32	16	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
11	PLATE	short Pre-Delay	Reverb Time	1..32	7	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
12		long Pre-Delay	Reverb Time	1..32	13	Mix L	0..50	10	Mix R	0..50	10
13	GATED REVERB	min. Density	Gt./Rev. Time	1..32	4	Sensitivity	0..63	9	Mix	0..50	15
14		max. Density	Gt./Rev. Time	1..32	17	Sensitivity	0..63	15	Mix	0..50	10
15	AMBIENCE	min. Reflections	Room Size	0..63	32	Pre-Delay	0..63	15	Mix	0..50	10
16		max. Reflections	Room Size	0..63	63	Pre-Delay	0..63	15	Mix	0..50	10
17	WAH / DELAY / DISTORTION	Feedback 0 %	Delay Time	0..63	35	Drive	0..63	63	Delay Mix	0..50	6
18		Feedback 10 %	Delay Time	0..63	35	Drive	0..63	63	Delay Mix	0..50	6
19		Feedback 30 %	Delay Time	0..63	35	Drive	0..63	63	Delay Mix	0..50	6
20	DELAY / REV.	-	Delay Time	0..63	50	Delay Mix	0..50	7	Reverb Mix	0..50	20
21	DELAY (stereo)	min. Feedback ↓ max. Feedback	Delay Time	0..63	43	Mix L	0..50	2	Mix R	0..50	11
22			Delay Time	0..63	63	Mix L	0..50	3	Mix R	0..50	11
23			Delay Time	0..63	20	Mix L	0..50	8	Mix R	0..50	16
24			Delay Time	0..63	63	Mix L	0..50	0	Mix R	0..50	35
25	DELAY (long mono)	-	Delay Time	0..63	15	Feedback	0..63	2	Mix	0..50	8
26		-	Delay Time	0..63	25	Feedback	0..63	12	Mix	0..50	10
27		-	Delay Time	0..63	30	Feedback	0..63	15	Mix	0..50	9
28		-	Delay Time	0..63	45	Feedback	0..63	20	Mix	0..50	10
29		-	Delay Time	0..63	63	Feedback	0..63	25	Mix	0..50	10
30	PHASER	Feedback 0 %	LFO Speed	0..63	36	Depth	0..63	30	Mix	0..99	50
31		Feedback 62 %	LFO Speed	0..63	30	Depth	0..63	35	Mix	0..99	60
32		Feedback 62 %	LFO Speed	0..63	48	Depth	0..63	25	Mix	0..99	50
33		Feedback 77 %	LFO Speed	0..63	63	Depth	0..63	28	Mix	0..99	50
34	CHORUS	fat	LFO Speed	1..32	8	Depth	0..63	63	Mix	0..99	30
35		slow	LFO Speed	1..32	1	Depth	0..63	30	Mix	0..99	40
36		stereo	LFO Speed	1..32	15	Depth	0..63	20	Mix	0..99	50
37		stereo	LFO Speed	1..32	1	Depth	0..63	63	Mix	0..99	50
38	CHORUS / REVERB	ultra	Reverb Time	0..63	24	Chorus Mix	0..99	50	Reverb Mix	0..50	10
39		slow	Reverb Time	0..63	10	Chorus Mix	0..99	50	Reverb Mix	0..50	10
40		medium I	Reverb Time	0..63	10	Chorus Mix	0..99	40	Reverb Mix	0..50	10
41		medium II	Reverb Time	0..63	1	Chorus Mix	0..99	50	Reverb Mix	0..50	10
42		fast	Reverb Time	0..63	51	Chorus Mix	0..99	50	Reverb Mix	0..50	10
43	CHORUS / DELAY	ultra	Delay Time	0..63	63	Chorus Mix	0..99	50	Delay Mix	0..50	10
44		slow	Delay Time	0..63	54	Chorus Mix	0..99	30	Delay Mix	0..50	10
45		medium I	Delay Time	0..63	59	Chorus Mix	0..99	50	Delay Mix	0..50	10
46		medium II	Delay Time	0..63	48	Chorus Mix	0..99	50	Delay Mix	0..50	10
47		hold	Delay Time	0..63	63	Chorus Mix	0..99	40	Delay Mix	0..50	14
48	FLANGER	fat	LFO Speed	1..32	15	Depth	0..63	5	Mix	0..99	30
49		classic	LFO Speed	1..32	5	Depth	0..63	10	Mix	0..99	14
50		stereo	LFO Speed	1..32	20	Depth	0..63	20	Mix	0..99	24
51		stereo	LFO Speed	1..32	10	Depth	0..63	5	Mix	0..99	50

VINTAGER AC112

プリセット番号	エフェクト	バリエーション	パラメーター			EFFECT A			EFFECT B		
			パラメーター	Range	Default	Range	Default	Range	Default		
52	FLANGER / REVERB	ultra	Reverb Time	0..63	20	Flanger Mix	0..99	50	Reverb Mix	0..50	10
53		slow	Reverb Time	0..63	20	Flanger Mix	0..99	40	Reverb Mix	0..50	10
54		medium I	Reverb Time	0..63	50	Flanger Mix	0..99	50	Reverb Mix	0..50	10
55		medium II	Reverb Time	0..63	50	Flanger Mix	0..99	50	Reverb Mix	0..50	10
56		fast	Reverb Time	0..63	32	Flanger Mix	0..99	50	Reverb Mix	0..50	10
57	FLANGER / DELAY	ultra	Delay Time	0..63	63	Flanger Mix	0..99	30	Delay Mix	0..50	10
58		slow	Delay Time	0..63	53	Flanger Mix	0..99	30	Delay Mix	0..50	3
59		medium I	Delay Time	0..63	63	Flanger Mix	0..99	30	Delay Mix	0..50	10
60		medium II	Delay Time	0..63	32	Flanger Mix	0..99	50	Delay Mix	0..50	10
61		fast	Delay Time	0..63	63	Flanger Mix	0..99	30	Delay Mix	0..50	6
62	STEREO TREMOLO	-	LFO Speed	1..32	10	Pan	0..63	0	Mix	0..99	50
63		-	LFO Speed	1..32	19	Pan	0..63	0	Mix	0..99	40
64	TREMOLO / DELAY	slow	Delay Time	0..63	19	Tremolo Mix	0..99	50	Delay Mix	0..50	10
65		ultra	Delay Time	0..63	50	Tremolo Mix	0..99	50	Delay Mix	0..50	10
66		medium	Delay Time	0..63	19	Tremolo Mix	0..99	60	Delay Mix	0..50	15
67	ROTARY SPEAKER	-	Speed	0..63	9	Variation	1..32	1	Mix	0..99	50
68		-	Speed	0..63	15	Variation	1..32	10	Mix	0..99	50
69	MAGIC DRIVE	-	Delay Time	0..63	5	Variation	0..32	24	Delay Mix	0..50	1
70		-	Delay Time	0..63	63	Variation	0..32	32	Delay Mix	0..50	11
71	AUTO WAH	fast	Sensitivity	0..63	63	Depth	0..63	27	Mix	0..99	99
72		slow	Sensitivity	0..63	63	Depth	0..63	20	Mix	0..99	90
73	LFO WAH	LFO Band Pass	LFO Speed	0..63	30	Depth	0..63	45	Mix	0..99	90
74		LFO Band Pass	LFO Speed	0..63	60	Depth	0..63	40	Mix	0..99	60
75	PITCH SHIFTER	-12	Tune Left	-12..12	0	Mix L	0..99	50	Mix R	0..99	50
76		-5	Tune Left	-12..12	0	Mix L	0..99	50	Mix R	0..99	34
77		+3	Tune Left	-12..12	0	Mix L	0..99	50	Mix R	0..99	34
78		+4	Tune Left	-12..12	0	Mix L	0..99	50	Mix R	0..99	20
79		+7	Tune Left	-12..12	0	Mix L	0..99	50	Mix R	0..99	34
80		+4 %	Tune Left	-50..50	0	Mix L	0..99	50	Mix R	0..99	20
81		+8 %	Tune Left	-50..50	14	Mix L	0..99	34	Mix R	0..99	34
82	PITCH SHIFTER / REVERB	-12	Reverb Time	0..63	4	Pitch Mix	0..99	30	Reverb Mix	0..50	20
83		+3	Reverb Time	0..63	18	Pitch Mix	0..99	24	Reverb Mix	0..50	10
84		+4 %	Reverb Time	0..63	10	Pitch Mix	0..99	40	Reverb Mix	0..50	12
85		+8 %	Reverb Time	0..63	4	Pitch Mix	0..99	40	Reverb Mix	0..50	20
86	PITCH SHIFTER / DELAY	-12	Delay Time	0..63	63	Pitch Mix	0..99	40	Delay Mix	0..50	7
87		-5	Delay Time	0..63	63	Pitch Mix	0..99	34	Delay Mix	0..50	7
88		+4	Delay Time	0..63	63	Pitch Mix	0..99	20	Delay Mix	0..50	7
89		+7	Delay Time	0..63	63	Pitch Mix	0..99	20	Delay Mix	0..50	7
90	COMPRESSOR	fast	Sensitivity	0..63	30	Ratio	1..24	10	Gain	-3..12	8
91		slow	Sensitivity	0..63	30	Ratio	1..24	14	Gain	-3..12	8
92	EXPANDER	Hell	Sensitivity	0..63	35	Ratio	1..24	24	Gain	-3..12	0
93		Heaven	Sensitivity	0..63	20	Ratio	1..24	14	Gain	-3..12	0
94	GUITAR COMBO	-	Drive	0..63	30	Presence	0..63	42	Mix	0..99	99
95		-	Drive	0..63	63	Presence	0..63	63	Mix	0..99	99
96		-	Drive	0..63	63	Presence	0..63	18	Mix	0..99	99
97	SPEAKER CABINET	Stack A	HF Cut	0..63	20	Peak Gain	0..63	40	Peak Freq.	0..63	63
98		Stack B	HF Cut	0..63	30	Peak Gain	0..63	40	Peak Freq.	0..63	30
99		Combo	HF Cut	0..63	4	Peak Gain	0..63	30	Peak Freq.	0..63	10

4.2 MIDI インプリメンテーション

MIDI インプリメンテーション・チャート				
Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	X	OFF, 1 - 16	memorized
	Changed	X	OFF, 1 - 16	
Mode	Default	X	1,2	
	Messages	X	X	
	Altered	X	X	
Note Number		X	X	
	True Voice	X	X	
Velocity	Note ON	X	X	
	Note OFF	X	X	
After Touch	Keys	X	X	
	Channels	X	X	
Pitch Bender		X	X	
Control		X	O 7, 10 - 15, 18	see add. table
Progr. Change			123, 124, 127	123 = CLEAN
	True #	X	O (0 - 98) 1 - 99	124 = OVERDRIVE 127 = Effect Bypass
System Exclusive		X	X	
System Common	Song Pos.	X	X	
	Song Sel.	X	X	
	Tune	X	X	
System Real Time	Clock	X	X	
	Commands	X	X	
Aux Messages	Local ON/OFF	X	X	
	All notes OFF	X	X	
	Active Sense	X	X	
	Reset	X	X	
Notes				

O = YES, X = NO

Mode 1: OMNI ON

Mode 2: OMNI OFF

表4.2: MIDI インプリメンテーション

Parameter Name	Display Range	Midi Control Number	Control Value Range
Volume Controller	-	7	0 .. 127
Channel	CLEAN = 0, OVERDRIVE = 1	10	0 .. 1
Effect	OFF = 0, ON = 1	11	0 .. 1
Parameter	depends on effect	12	0 .. 127 (max.)
Effect A	depends on effect	13	0 .. 127 (max.)
Effect B	depends on effect	14	0 .. 127 (max.)
Wah/Modulation Controller	-	15	0 .. 127
Store Enable Controller	-	18	0 .. 127

表4.3: VINTAGER のMIDI コントローラー

5. テクニカル・データ

オーディオ入力端子

コネクター 6.3 mm モノラルフォンジャック
タイプ RF-rejecting 入力

ギター入力
入力インピーダンス 約 1 M Ω /アンバランス

Insert Return
入力インピーダンス 約 10 K Ω /アンバランス

AUX IN
入力インピーダンス 約 10 k Ω /アンバランス

オーディオ出力

コネクター 6.3 mm モノラルフォンジャック
タイプ 低オーム型ラインレベル出力

Insert Send
出力インピーダンス 約 100 Ω /アンバランス

LINE OUT
出力インピーダンス 約 120 Ω /アンバランス
最高出力レベル +12 dBu/アンバランス

システムデータ (パワーアンプ)

パワーアンプ出力 60 W R.M.S. @ 5% THD +N / 8 Ω ; 230 V~

MIDI インターフェース

タイプ 5-Pol DIN コネクター、MIDI IN

デジタル処理

コンバーター 24 ビット・シグマデルタ 64/128 倍オーバーサンプリング
サンプルレート 46.875 kHz

ディスプレイ

タイプ 2 桁数値 LED ディスプレイ

スピーカー

タイプ 12 インチ・ヘビーデューティースピーカー
モデル JENSEN® JCH12/70 / BUGERA・12G70J8

インピーダンス 8 Ω
最高出力 70 W

電源供給

供給電圧 米国/カナダ 120 V~、60 Hz
ヨーロッパ/英国/オーストラリア 230 V~、50 Hz
日本 100 V~、50 - 60 Hz
一般輸出用モデル 120/230 V~、50 - 60 Hz 60 Hz

消費電力 最低: 約 40 W / 最高: 約 130 W
ヒューズ 100 - 120 V~: T 2 A H 250 V
200 - 240 V~: T 1 A H 250 V

電源コネクター 標準 IEC コネクター

寸法と重量

寸法 (高さ×幅×奥行き) 約 18.8 インチ (477.5 mm) × 20.3 インチ (515.2 mm) × 10.5 インチ (266 mm) / 12.5 インチ (317.5 mm)

重量 約 18.5 kg

BEHRINGER 社は最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は予告なしで行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する可能性があります。